

第12回なら県民電子会議室運営委員会議事録

1. 日時：平成20年7月19日（土曜日）14：00～16：30
2. 場所：奈良県庁舎 6階 61会議室
3. 出席者；小山正樹、峠 春樹、林 正泰、遠藤英樹、金田充史、高津公彦、松村洋子、
鉄田憲男、藤野正文、遊津隆義、多田充朗、木村新一、城戸振作、寺村 聡、

4. 議題：

第1部：ミニ講演会「平城遷都1300年祭について」
平城遷都1300年記念事業協会事務局 理事 一柳 茂氏

第2部：第12回運営委員会

(1) 副委員長挨拶

(2) 20年度上期中間報告
コーディネーター報告
事務局報告

(3) 県からの報告
取組み状況

20年度下期テーマの検討状況

5. 議事の経過の概要

第1部：ミニ講演会

平城遷都1300年記念事業協会事務局理事 一柳 茂氏より、「平城遷都1300年祭について」と題して、1300年祭を祝祭と位置づけ、大和時代を含む奈良の歴史を全県域にわたり取組み、平城宮跡事業、県内各地事業、関連広域事業の構成の下、2011年以降も継続性のある事業展開する実施基本計画の詳細内容についてお話を頂いた。講演後、経済効果など活発な質疑応答が行われた。

第2部：第12回運営委員会

(1) 副委員長挨拶

小山副委員長より、コーディネーターの方々の努力への謝辞と共に、3年目を迎え、一層のグレードアップを計って、本会議室を是非続けて行きたいので引き続きの関係各位の協力をお願いするとの挨拶があった。

(2) 20年度上期中間報告

コーディネーター報告：各テーマについて下記報告があった。

テーマ1：まほろばからストップ温暖化を考える

この半期の議論の主な内容として、8項目の報告があった。
下半期の方針として、先日の県議会でも議論が始まり、関心が高まっている温暖化防止条例にスポットをあて、新しい会議室参加者を募り、本会議室のアウトプットにつなげてゆきたい。
そのために、県を含む我々関係者の一層の努力が必要。

テーマ2：世界に開かれた奈良づくり

深い議論を進めるべく、1300年祭を切り口に奈良の問題点として、南部と北部問題、環境、せんとくん、もてなし、交通等の議論を展開中。一方、幅広い議論を進めるべく、お気に入り風景、なら本募集のテーマ設定し、展開を図っている。
もう少し新しいテーマ拡大と幅広い議論を喚起し、成果に結び付けてゆきたい。

テーマ3：うまいもののある食の風土づくり

この上四半期の議論を通して、奈良の食の観光資源は多彩であり、誇れる味はたくさんある。しかし、その認知、普及は総じて低く、その原因はPRとマーケティング不足である。
下四半期で、「奈良のうまいもの」をどうすれば普及させられるかという論点にも焦点をあてて展開したい。

テーマ4：奈良に泊まってもらうには

奈良の旅館、ホテルのあり方について、夢を語ってもらいたい、中々議論が広がらない。他府県の取組み例などを切り口にした議論や旅行者やランドオペレーターの参画を促すなど、簡単で身近なテーマと深みのあるテーマの両面の議論拡大を図って行きたい。また、県のトップページから当会議室にすぐ入れるなど、システム運用面の改善も望まれる。

質疑：集約意見を県政や地域活動へ反映してゆく上で、関係者への周知方法が課題。そうでないと折角の提言がもったいない

事務局報告

事務局より広報活動、アクセス、登録、投稿の状況報告があった。
前年並み以上の投稿数を目指し、一層の広報活動に注力して行く。

(3) 県からの報告

取り組み状況

19年度下期の報告を関係部課に回付。今週評価分析会議を予定している。フィードバックを取りまとめてゆく。

成果の具体性が課題であると認識している。

県のHPからの参加をより簡便にすべく、「県民参加」から直接

当会議室に入れるなど、HPの改善を図る。

20年度下期テーマの検討状況

各部局から8項目の案が出ている。これらと運営委員会のアイデアを加えテーマ絞込みの検討、議論を進めてゆきたい。本会議室は3年目処の事業となっている。来年度以降の継続については、予算に絡めて議論されることになるが、年末頃に向性が分かるのではと考える。

以上。